

■ 日 時：2025年5月25日(水) 14:00～15:30

■ 場 所：麻績村役場第4会議室

■ 参加者：8名

麻績村住民課地域包括	関崎豊氏(部会長)
筑北村地域包括支援センター	高藤あゆみ
生坂社協地域障福祉協働係	丸山英基氏(欠)
麻績村社会福祉協議会	滝澤亜矢氏
筑北シャインカレッジ	今井仁樹氏
筑北社協ちくほっくる	宮澤英樹氏
一二三福祉行政書士事務所	飯森美代子氏
麻績村住民課	百瀬大輝氏
筑北基幹相談支援センター・事務局	藤澤房枝

## 1. 自己紹介

## 2. 今年度テーマ 関崎部会長

昨年度3回目の部会にて出された虐待を今年度のテーマとする。

明確な虐待も含め、思っている以上に身近に虐待はある。部会は何かを決めるというより、情報共有を行う場として考えたい。

### ○意見交換

#### <家族からの虐待>

- ・一人暮らしで寝たきりの障がいのある人の家族からの成年後見の相談あり、成年後見利用は制度的な説明後申立てをしないとなった。その後、訪問しているヘルパーから家の現金がなくなっている報告があり、善良な親族による財産管理ばかりではない。
- ・利用料金が滞納することがある。一緒に生活をしている者の搾取は事件にならないと言われた。
- ・家族からの経済的虐待。親のお金を使うケースは息子が多い。事業をしている親が子の年金を使っていた等があった。
  - 経済的虐待の可能性がある時、成年後見につながる前の予防が大事。後見制度利用は時間を要するので、安心ネットをまず使ってもらう事が多い。
  - 子が親の経済的虐待をしている場合は介入が難しい。
- ・支払い状況から経済的虐待の可能性がある。
  - 在宅では家族が虐待をしても直接伝えることは難しい。
- ・知的障害の兄弟の利用者で妹が家族全体の金銭管理をしていたが、搾取が疑われ関係者で社協の利用を勧めて金銭管理につながった。
- ・住宅改修の依頼で自室に閉じ込める造りになっていた。
  - 徘徊防止の閉じ込めなのか認めることはできなかった。多角的な見方が必要。
- ・虐待には背景があり家族の支援も必要。
  - 虐待を発見した時に発見した人が迷わない、困らない状況が作れるか。

#### <支援者として>

- ・自分のお金を好きに使うのは成人として自己責任であるが、障がい者への金銭管理は週単位であったり、何につかっているのかと問われたり言葉のやりとりが介入的になる。

→お金の制約は虐待につながる部分がある。役場や社協等の金銭管理は権利を保障する仕事。理由が説明されることが大事。

- ・ 知的障害で課金ゲーム等で月30~40万使い消費者金融から月8万円利息になった。働く選択肢もなく関係者と相談し本人の希望とは言えないが、自己破産手続きをしたことがある。一律に財産管理ができることではない。権利擁護は人によりカスタマイズがあり、理由の説明が必要。
- ・ 支援者側からの声掛けが虐待をしているのではないかと日々支援で感じている。
- ・ 金銭搾取もあるが、事実確認が難しい。

#### ○フリーディスカッション

- ・ 介護保険制度は浸透したが、成年後見制度は浸透していない。親族が通帳管理し施設費用滞納額が大きくなることもあるが、早めに制度につながっていかれたらと思う。
- ・ 虐待をどこで判断するか。感情論ではなく整理した判断があることが大事。  
→虐待インテークシートの活用や組織として知識や体制があるとよい。
- ・ 適切なタイミングや関係づくりでよい金銭管理につながっていく。権限のある人が早めに対応をするとよい。一方、早すぎると厄介な状況もある。
- ・ 虐待は突然出てくるのではない。解決しないと継続し、その関係性が濃くなっていく。
- ・ 対抗手段を持たない人は虐待となるが、職員は虐待と言えない。
- ・ 職員や支援者に対する暴言や暴力は接遇が直接的に繋がっているのではないか。何故利用者から職員に対する暴力があるのか。支援者への虐待は何が繋がっているのかを考え、対応がどうこうではなくメカニズムやセルフコントロール等を考えたり支援者としての気づきが大事ではないか。  
→暴力はどのような状況も不適切であるが、利用者から職員への暴力は虐待とは言えない。  
対抗手段がない人への暴力は虐待。
- ・ 実際の案件などが共有できていない。
- ・ 感じ方はその人それぞれであるが、支援者の言動が不適切になっていないか。説明も難しい。

### 3. 全体会

権利擁護部会として参加とグループワーク協力依頼と意見

#### ○権利擁護部会として協力

- ・ 支援者として虐待なのかを考える機会になる。
- ・ 虐待と判断できる体制を具体的に話し合える
- ・ 他、共有した内容から

#### ○グループワーク

- ・ 打ち合わせなど負担のないファシリテーターの役割
- ・ 様々な立場の人が混ざったグループワーク
- ・ 三村の顔が見える関係ができる
- ・ 気持ちをニュートラルにしていろいろな発見ができる。
- ・ 人材不足を理由にせず気持ちの持ちよう、ニュートラルな気持ちでディスカッションできる。

### 4. 年間予定

- ・ 第2回 7月4日(金)13:30~16:30 生坂村営やまなみ荘大ホール
- ・ 第3回 1月22(木)14:00~ 麻績村役場

### 5. その他 (案内配布)

基幹相談支援センターの紹介